

眼 科

【人員体制】

常勤医師 部長	2名
医員	1名
非常勤医師	1名
視能訓練士	6名
事務員	1名

【手術実績】

2018年1月～12月	眼科手術総件数合計	(1,108件)
		(2017年 953件)
		(2016年 672件)

内眼手術

硝子体手術	228件
白内障手術	599件
その他の手術	20件
合計	847件
	(2017年 699件)
	(2016年 399件)

外眼手術

斜視手術	18件
眼瞼下垂手術	43件
眼瞼内反手術	14件
涙器に関する手術	7件
霰粒腫摘出術	8件
角膜異物摘出術	15件
翼状片手術	6件
眼窩に関する手術	7件
結膜手術	12件
その他の手術	7件
合計	137件
	(2017年 96件)
	(2016年 54件)

レーザー手術

虹彩切開術	20件
後発白内障術	30件
網膜光凝固術	74件
合計	124件
	(2017年 158件)
	(2016年 219件)

(内眼手術を施行している症例が増加しているため、レーザー手術減少)

紹介患者数が増加し、内眼手術数、外眼手術数がかなり増加しました。2018年には、手術数はさらに増加しました。特に、内眼手術の網膜硝子体手術は、糖尿病網膜症、硝子体出血、黄斑上膜、黄斑円孔、網膜剥離などに対し、多数施行しました。

硝子体内注射という治療は手術ではありませんが、眼の中の硝子体内に注射をする治療です。硝子体内注射の必要な疾患（糖尿病黄斑浮腫、加齢性黄斑変性症、網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫、脈絡膜新生血管など）もさらに増加しました。

(硝子体内注射 2018年1月～12月：488件、2017年1月～12月：296件)。

手術以外の疾患の治療（点眼、結膜下注射、テノン嚢下注射、網膜光凝固術、内服治療、点滴治療など）も多数施行しています。視神経疾患（視神経炎虚血性視神経症、視神経脊髄炎など）、ぶどう膜炎（原田病、サルコイドーシス、急性前部ぶどう膜炎、ベーチェット病など）、糖尿病網膜症、角膜炎、角膜潰瘍、網膜動脈閉塞症、網膜静脈閉塞症、甲状腺眼症など、多数の疾患治療を施行しております。原因検索、治療方針決定のために、眼検査以外の検査（血液検査、頭部検査、副鼻腔検査、頸動脈検査、心疾患検査、胸部検査など）で、必要な検査も施行します。症例に対し、必要な場合には、当院他科との連携を重視して、原因検索、治療を行っています。

斜視などに対しても、眼位検査、両眼視機能、網膜対応検査なども施行して、経過を見て、必要性があれば、斜視手術を施行しています。

当院へ直接来られる患者様も多いですが、他院からのご紹介にて来られる症例も増加しています。(眼科紹介件数 2018年1月～12月：617件)

以上、この先も医師、視能訓練士にて頑張って治療施行いたします。

[文責：松波智恵子]